

思い出や学んだことを胸に夢に向かって卒業 ～市立小・中学校卒業式～

市内小・中学校の卒業式が、3月15日に中学校、3月24日に小学校で行われました。今年度は小学校303人、中学校344人の児童・生徒が卒業。それぞれの学校で、先生や在校生、保護者、地域の方々など、多くの方に見送られて学びやを後にしました。

顕娃中学校では、福元邦敏校長が「支えてくれる人がいることを忘れず、夢と希望を持って何事も熱心に取り組んでください」と式辞を述べ、卒業生を代表して末吉真白さんが「3年間学んだことを胸に頑張っていきたい」と、これからの活躍を誓いました。



▲福元邦敏校長より卒業証書を受け取る顕娃中学校 61 人の卒業生。別れを惜しみながらも、それぞれの夢に向かって歩みだしました。

待望の南薩縦貫道一部開通 ～南薩縦貫道（知覧・霜出道路）開通式～

3月27日、南薩縦貫道知覧道路と霜出道路の開通式が南九州川辺インターで行われました。式には伊藤知事や塗木市長をはじめ多くの関係者が出席し、知覧無双太鼓の演奏や川辺高校、知覧中学校の合同演奏が披露され、待望の道路開通を祝いました。今回の開通で、物流の効率化による産業振興や、交流促進による観光振興が期待されます。



▲出席者を代表した 12 人によるテープカットセレモニー。「お茶むらい」とかごしま PR キャラクターの「ぐりぶー」も開通を祝いました。



清水小学校では、加治屋文仁校長が「人との関わりの中で成長し、あきらめることなく前に進んでください」と式辞を述べられました。卒業生3人は将来の夢を発表し、式の最後に親子で作った卒業ソング「今、ここから」を、思いを込めて歌いました。



▲これまでの思いや3人が出会った奇跡を歌った「今、ここから」。あふれる涙をこらえながら、お世話になった人たちに感謝の気持ちを届けました。

▼「であえ～る どんどん亭」では、農産品だけでなく、甘酒やたまねぎドレッシングなどの加工品、地元の食材を使ったお弁当やお惣菜も販売しています。



地域住民の憩いの場がついに完成 ～であえ～る どんどん亭～

3月12日、農事組合法人どんどんファーム古殿が建設した農産物加工・直売施設「であえ～る どんどん亭」の完成祝賀会が、川辺の古殿公民館で開催されました。代表理事の中間幸敏さんは「憩いや交流の場として活用してもらいたい。ここを拠点に高齢者給食宅配サービスにも取り組み、地域が一人一人を支援する体制を図りたい」と抱負を述べました。

春の息吹を感じて歩く ～第4回アグリウォーク～

3月20日、第4回アグリウォークが、晴天のもと開催されました。250人を超える市内外の参加者が、今年から真田幸村伝説コースが新しく加わった3つのコースに分かれ、暖かな日差しの中アグリランドえいをスタートしました。今年も地元の皆さんの協力によるお茶や団子などの“おもてなし”があり、参加者に大好評のアグリウォークでした。



▲頼むの雪丸自治会にある真田幸村のものと伝えられる墓の前で一息つく参加者の皆さん。

▼かわなべ磨崖仏太鼓保存会の演奏がイベントに華を添え、お茶むらいの餅つきに子どもたちも大喜びでした！



陽春の中うんまかもん市開催 ～南九州市特産品協会～

3月27日、市特産品協会主催（会長：梅木康博）の「春のうんまかもん市」が、道の駅川辺やすらぎの郷で開催されました。地元特産品の川辺牛の串焼きをはじめ友好市である青森県平川市のリンゴなども販売され、大勢の買い物客で賑わいました。また、市産紅さつまを利用したからいも餅の振る舞いは、長蛇の列ができるほどの盛況ぶりでした。

▼集落営農や酪農などへの貢献が認められ、今回受賞した内匠秋夫さん（前列左）と県の福田博史農政部長（前列右）ほか農政関係者。



県農業功労者表彰式 ～内匠秋夫さん（川辺町高田）が受賞～

3月22日、鹿児島県庁において県農業功労者表彰式が行われ、内匠秋夫さんが表彰を受けました。この表彰は長年にわたって県農業の発展に寄与した方に贈られるもので、内匠さんは集落営農法人（土里夢たかた）の設立、取り組みを推進したほか、県酪農政治連盟委員長を長年務めるなど、これまでの地域農畜産振興への貢献が認められ今回の受賞となりました。

菜の花畑をポニーが駆け巡る ～春を呼ぶ塗木菜の花まつり～

3月13日、知覧町塗木地区で、「第15回塗木菜の花まつり」が開催され、約20㍍に広がる黄色一色の菜の花畑では、恒例となったポニーレースが行われ、見物客を楽しませました。昼食時には知覧無双太鼓と中央保育園児による力強い太鼓の音が響き渡り、まつりをさらに盛り上げていました。また、会場では地元でとれた野菜などが販売され、多くの方が買い求め賑わっていました。



▲まつりに訪れた見物客は「雨が降らなくて良かった。満開の菜の花を見ると、春の訪れを感じる」と話しました。

ぼくたちわたしたちの子ども会 ～平成 27 年度次年度子ども会長研修会～

3月12日、次年度子ども会長研修会が、子ども会長候補者やリーダーを目指す小・中学生 99 人参加のもと、ちらん夢郷館で開催されました。子どもたちは、レク



▲ジュニア・リーダークラブと高校生クラブによるレクリエーション指導。

リエーションなどを通してリーダーの役割と協力して活動することの大切さを学び「自分たちで子ども会を楽しみたい」と話しました。

全国3位のなぎなた女子 ～川辺高等学校なぎなた部～

3月20日から21日にかけて兵庫県伊丹市で行われた全国高校選抜大会なぎなた競技で川辺高校が3位に入賞しました。代表戦に持ち込まれる厳しい試合を



▲全国の舞台上で堂々の3位に輝いた川辺高等学校なぎなた部。

制し、準決勝まで勝ち進みました。準決勝で惜しくも敗れましたが、監督と選手が一体となり素晴らしい成績を残しました。

百歳おめでとうございます ～池田ノキさん（知覧町郡）～

3月19日、池田ノキさんが100歳の誕生日を迎えられました。3月22日、塗木市長が自宅を訪問し花束と祝金を贈り、ご家族の方と長寿をお祝いしま



▲ご家族に囲まれて、嬉しそうな池田さん。

した。長生きの秘訣は「長生きの家系もあるが、大好きなおにぎりをよくかんで、腹八分を守って食べるこ

茅葺屋根を葺き替えました ～知覧町上郡の知覧型二ツ家民家～

知覧型二ツ家民家は、江戸時代に建築されたといわれている市内でも数少ない茅葺屋根の建物で、昭和56年に知覧町瀬世から現在地の上郡に移築され



▲2月から3月にかけて総葺き替えされた知覧型二ツ家民家。

ました。棟と棟をつなぐ小棟の形状は知覧独特のもので、歴史ある建物が今回の総葺き替えて美しい姿となりました。

百歳おめでとうございます ～松村フサさん（知覧町永里）～

3月20日、松村フサさんが100歳の誕生日を迎えられました。3月23日、塗木市長が施設を訪問し花束と祝金を贈り、ご家族の方や施設の皆さんと長寿を



▲施設の皆さんからも祝ってもらいました。

お祝いしました。裁縫で小間物を作ることが好きとのことです。長生きの秘訣は「感謝の気持ちを持つこと」と話しました。

百歳おめでとうございます ～刈川キミエさん（川辺町宮）～

3月19日、刈川キミエさんが100歳の誕生日を迎えられました。呉服店、紡績会社に勤めた後、主に農業をされてきました。毎朝7時に起床し家中の戸を開



▲3月23日、塗木市長が自宅を訪問し、長寿をお祝いしました。

けるのが日課で、新聞や市報をよく読む刈川さん。長生きの秘訣は「足を伸ばしたり曲げたり体操をすること」と話しました。